

## リンゴ褐斑病の一次感染の早期化と当面の防除対策

## 【概要】

近年の早期多発生の要因は、一次感染開始日が開花期に前倒したことにより防除タイミングを逃していることです。前年発生園では、落花期防除剤として効果の高いジチアノン水和剤を用います。

## 1 開花期感染と秋期発生との関係（図1）

(1) 過去25年間の一次感染開始日（平成10年～令和4年、盛岡市）は、平成28年までは主に落花期以降でしたが、平成29年以降は毎年、開花期に早期出現しています。

(2) 開花期感染する年は、秋期になって広域的に発生する傾向です。

## 2 開花期感染年での一次感染に対する防除効果（図2）

従来、本病と黒星病を対象として主に落花期で用いられてきたマンゼブ水和剤は、開花期感染した年では効果が劣ります。一方、ジチアノン水和剤（商品名：デランフロアブル）は開花期感染年でも高い効果が認められます。

## 【試験データ等】

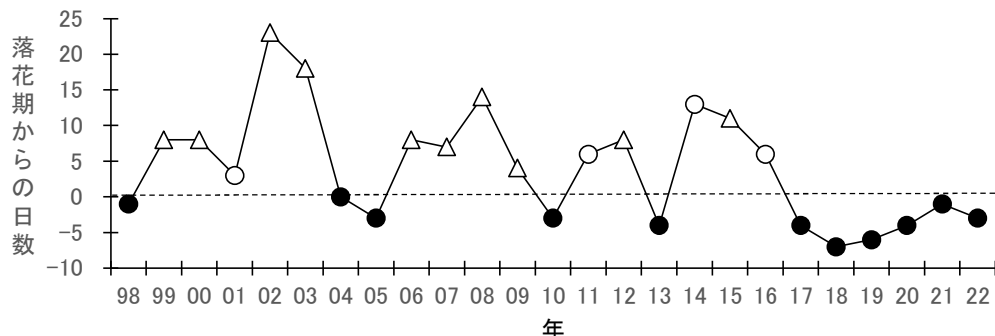


図1 過去25年間の一次感染開始時期と秋期の発生量との関係（県中部）

- ・折れ線は、一次感染開始日（推定）を落花期（盛岡）からの日数。
- ・秋期の発生量は、発生園地率（H10～R3年）の平年値（58%）に対する概評。 ●：やや多・多（平年比+20%超）、○：平年並（同±20%以内）、△：やや少・少（同-20%未満）。

摘要)「ふじ」の開花期に一次感染が始まる（点線より下）と、褐斑病が広域で発生する傾向。

褐斑病が早期多発しているH29年以降は、毎年、開花期に一次感染が起こっています。

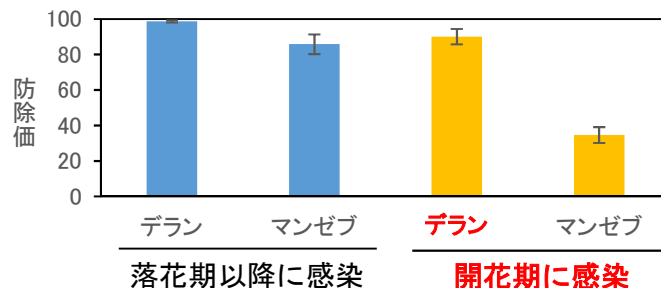


図2 褐斑病の一次感染期（落花期～落花20日後）の防除効果と感染開始日との関係

※防除価：無処理との比較、各4年間の試験事例の平均値。

摘要) マンゼブ水和剤の防除効果は、感染開始日が落花期以降の年は高いが（左）、開花期では劣ります（右）。一方、デランフロアブルは開花期感染年でも高い効果が認められます。

【令和4年度成果】リンゴ褐斑病の一次感染開始時期の早期化と今後の防除対策（R4-指-33）